

第2回 関西教育サロン 教員×職員×学生

授業の「解体“SHIN”書」 ～学びの欲求と出逢うために～

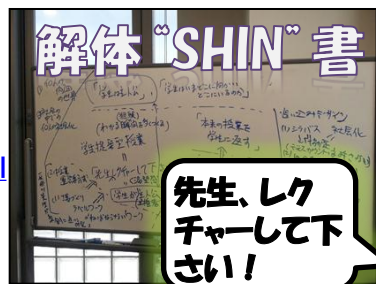
◆開催日時・場所◆

9月1日(日)13:00～18:00

会場:大手前大学 <http://www.otemae.ac.jp/about/access/traffic.html>

(JRさくら夙川駅から徒歩7分/阪急夙川駅から徒歩7分/阪神香櫨園駅から徒歩7分)

※終了後18:30より情報交換会を予定しております。是非ご参加下さい。



◆開催に向けた思い◆

「教育サロン」とは、「学生に対する願い」「授業に対するこだわり」「ご自身の専門分野に対する想い」などをお持ちの方々が、経歴、専門分野、授業内容、向き合う学生、それらの違いを超え、テーマについてざっばらんに語り合う場です。話題提供を兼ねた企画もございますが、その内容だけにとらわれることなく、むしろ触発されて出てきた、参加者の方々のワクワク感、嬉しかったこと、またお悩み、学生さんのお話などを、話していただけるような場になればと思っております。お忙しい折とは存じますが、是非お越しいただき、充実した時間を過ごしていただければ幸いです。

◆プログラム予定(仮)◆

13:00	開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部 池田輝政氏 会場校挨拶 大手前大学
13:10	実習「あなたの学習スタイル」など
14:30	企画、質疑応答
授業の「解体“SHIN”書」 池田輝政氏(名城大学) 村山孝道氏・学生(京都文教大学) 【内容】 京都文教大学の初年次必修科目「京都文教入門」を企画・運営されている主要メンバーの脳内を池田先生が解体する！ 「京都文教入門」は教員職員先輩学生が共に創り上げていく授業。教職学の想いと知恵が詰まった授業。「つぶやき授業」「Bunkyo Menu」「公開しゃべり場」「プロジェクトPRフェスタ」など、一見特殊で派手な存在に見える授業(別紙参照)。ただ、その奥に詰まっているものは、他の授業や学生支援と共通している部分があるのではないだろうか。特殊で派手に見える授業の裏にある、一般的で泥臭い部分とは？名城大学の池田氏が、企画・運営者の想いを聴き、その場で解体する！ 【村山孝道氏プロフィール】 京都文教大学教務課係長。(開学時より勤務)FD委員会や人事委員会など多数所属。学外では、大学教育学会・大学マネジメント研究会・大学職員人間ネットワーク(副会長)など多数所属。大学をこよなく愛する村山氏は、学生へ伝えた「やるか迷ったらやる！」を自ら有言実行実現すべく、同志社大学総合政策科学研究科博士前期課程在学中。自身の為に、他者の為に、進化し続ける大学職員。	
15:30	振り返り、グループで「解体新書」、全体共有
17:45	閉会の挨拶 大手前大学 (18:00終了予定)

発起人:名城大学 人間学部 池田輝政氏

【プロフィール】専門は高等教育経営学、教育学。九州大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。教育職員の高度化を目的とする大学院(大学・学校づくり研究科)を立ち上げ、国公私立の大学教員のための授業開発研修会、大学および初等・中等学校の指導層への戦略開発研修会に赴くなど、教育と経営の両分野の課題解決に向けて指導とコンサルティング活動を行う。国立大学協会大学評価専門委員ほかを歴任。著書に『成長するティップス先生—授業デザインのための秘訣集』(戸田山和久・近田政博・中井俊樹と共著)など



その他会場でも教育サロンを予定しています。ぜひご参加ください。(詳細はお問い合わせください)

名古屋	日程:9月28日(土)	場所:愛知学院大学	時間:13:00～18:00
福岡	日程:8月31日(土)	場所:福岡大学	時間:12:00～18:00
東京	日程:9月 6日(金)	場所:大東文化大学	時間:13:00～18:00

お申込は8月16日まで
にお願いします。

◆参加費 無料(情報交換会のみ 別途4,000円)

【お申し込み・お問い合わせ】①ご所属(大学名・学部/部署名・役職名)②お名前③ご連絡先(メールアドレス・電話番号)④情報交換会参加の有無⑤「先生、レクチャーして下さい！」から最初にイメージしたことを明記のうえ、下記メールアドレスまでお申込みください。お問い合わせはお電話でも受け付けております。

関西教育サロン事務局 担当:岡田 吉田 國井 kansai-salon@l-value.jp TEL:03-5776-5960 FAX:03-5776-5961

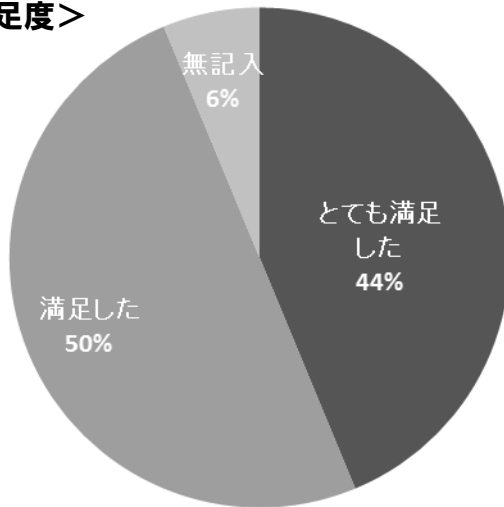
プログラム内容

会場: 関西大学

13:00	開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部 池田輝政氏 話題提供者の挨拶 関西大学 商学部 長谷川伸氏
13:10	実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」
15:00	話題提供、質疑応答
話題提供者: 関西大学 商学部 長谷川伸氏・長谷川ゼミ生(2年生) 【内容】 「学びの主人公は学生である」との思いからゼミ生が主体的に企画・実施・伝承に参画する授業形式(学生参画型)を実践。“Putting them in the driver’s seat(彼らを運転席に座らせること)”を教員の役割と考え、ゼミだけでなく300人規模の必修科目でも同じスタンスでの授業実践を展開されています。 実際に授業を受けている学生との対談形式で“どんな時に学ぼうと思ったか”“どんなことを学んだか”“なぜ学んだか”等、学生の視点から話題をご提供頂きました。	
15:45	分かち合い・グループ討議・全体共有
17:15	閉会の挨拶 (18:00終了)

アンケートより

<満足度>



<フリーコメント>

- ・ 話題提供をきっかけに他大学の先生方と有意義で中身の濃い議論ができた。結構問題意識からの背景はどこも似ているのかとも思った。
- ・ もっともっと知りたかったです。質問の時間がもっと長いと良いのかも。
- ・ 長谷川先生の場合づくりのうまさや、学生の表現力(ストレートに自分を語る)がとても印象的でした。
- ・ 検討してみたいことは、「授業をどう見守るか?」という点。→結構自分で行ってしまいうタイプなので。今回の参加で得たものを少し省察して、どんどん現場に生かしていきたいという気持ちです。
- ・ 今回初めて参加させていただきましたが、とても充実した時間でした。また、ぜひ参加したいと思います。とても自由に開放された雰囲気の中で楽しく思考できました。様々な参加者との出会いも素敵でした。

合計人数	とても満足した	満足した	どちらとも言えない	あまり満足しなかった	ぜんぜん満足しなかった	無記入
32	14	16	0	0	0	2
	43.8%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%

- ・ 長谷川先生からフリーライダーについて、「たまたま彼は今、参加できないだけ」という考え方を伺って、目からウロコでした。
- ・ フリートークで学生が生き生きと話せる雰囲気ができている→記者会見の効果が出ていたと思う。
- ・ 学生たちが自由に自分の想い、感じたことを開示している姿がすごいと思った。
- ・ ディスカッションの時間はどんだけあっても短く感じるが、1時間程度あると嬉しい。サロンという場で様々な価値観に触れられて面白い。
- ・ 人の意見を聞くことは本当に世界が広がります。
- ・ 授業改善のための学び、気づきの場を教員が持つことの重要性に気づいた。
- ・ 最初は緊張していて不安だったけど実際自分で話してみても、振り返れ、いろんな人と話すことができすごく良かったです。